

宇田雄一「古典物理学」

23 $\forall f \in F_3; \forall S' : \text{時空座標系}; \forall U' : \text{電磁座標系};$

$[h_3(f; S', U')]$ によって次の文を表すことにする。

$$\forall \xi \in N_{01}; U' (f(\xi, \square, \square)) = [S'(\xi) \text{での電磁場の値}]$$

24 $\forall m \in \mathbb{N}; \forall P'_1, \dots, P'_m : \text{質点}; \forall f \in F_{04, m}; \forall S' : \text{時空座標系};$

$\forall U' : \text{電磁座標系}; [h_{04}(P'_1, \dots, P'_m; f; S', U')]$ によって次の文を表すことに
する。 $h_{02}(P'_1, \dots, P'_m; f(N_{02, m}); S')$ and $h_3(f(N_3); S', U')$

25 $\forall P' : \text{質点}; \{h_{01}(P'; f; S') | f \in F_{01} \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ})\}$ の元を、 P' の分
布または P' の分布の歴史と呼ぶことにする。

26 $\{h_3(f; S', U') | f \in F_3 \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ}) \text{ and } (U' \text{ は電磁座標系だ})\}$ の
元を、電磁場の歴史または単に電磁場と呼ぶことにする。

27 $\{h_{04}(P_1, \dots, P_n; f; S, U) | f \in F_{04, n}\}$ の元を、自然の可変的な部分の歴史
と呼ぶことにする。28空欄。

29 $h_0(P_1, \dots, P_n)$ を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこと
にする。30空欄。

31 自然の可変的な部分の歴史全体の集合を \mathcal{H} と書くことにする。

32 \mathcal{N} を $N = N_{04, n}$ で定義する。33 \mathcal{F} を $F = F_{04, n}$ で定義する。34 $\mathcal{F} \subset \mathbb{R}(\mathcal{N})$

35 \mathcal{M} を次式で定義する。

$$\mathcal{M} \in \mathcal{H}(\mathcal{F}) \text{ and } [\forall f \in \mathcal{F}; \mathcal{M}(f) = h_{04}(P_1, \dots, P_n; f; S, U)]$$

36 空欄。37空欄。

38 $\forall f \in \mathcal{F}; [e_{05}(f, \mu(P_1, \dots, P_n; I, J))]$ を $\mathcal{L}(f)$ とも書くことにする]

39空欄。40 $\forall f \in \mathcal{F}; [\mathcal{M}(f) \text{ が可能だ}] \Leftrightarrow \mathcal{L}(f)$ 41 環境条件は真だ。

この文章は 1 20 21 22 24 25 27 29 32 33 34 35 36 37 38 39 の部分においてのみ $T_5(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ と異なる。